



秋運整第289号の2
平成28年10月7日

一般貨物自動車運送事業者 殿

東北運輸局秋田運輸支局長



冷蔵冷凍車の冷凍機の保守管理等の徹底について

標記について、東北運輸局自動車技術安全部長より別添(平成28年10月4日付け東自保第72号、東自整第105号)のとおり通達があったので、同種の事故を未然に防ぐための再発防止策について万全を期すよう、同通達及び国土交通省自動車局からの通達にある以下の点について了知いただきますようお願いいたします。

なお、国土交通省自動車局の通達にある船舶事故調査の経過報告については、秋田運輸支局ホームページ(<http://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/at/at-index.htm>)に掲載いたしますので、詳細はそちらでご確認願います。

1. 保有する冷蔵冷凍車の冷凍機について、適切な結線方法により配線されていることを点検すること。
点検の結果、適切な結線方法により配線されていないことが確認された場合は、専門業者に依頼する等して適切に配線すること。
2. 冷凍機メーカーが推奨する点検(日常、定期、一定距離毎など)を、必要に応じ専門業者に依頼する等して適切に実施すること。
3. 冷凍機に関する電気配線の補修等を行う際には、専門業者に依頼する等して、適切な施工を確保すること。

国自安第123号の4
国自整第179号の4
平成28年9月29日

東北運輸局自動車技術安全部長 殿

自動車局
安全政策課長

整備課長

冷蔵冷凍車の冷凍機の電気配線の安全確保について

標記について、別紙1及び別紙2のとおり関係団体あて通知したので了知するとともに、関係事業者を指導されたい。



国自安第123号
国自整第179号
平成28年9月29日

公益社団法人全日本トラック協会会長 殿

国土交通省自動車局
安全政策課長

整備課長

冷蔵冷凍車の冷凍機の電気配線の安全確保について

平成27年7月31日、北海道苫小牧市苫小牧港沖4.5海里付近で発生した旅客フェリーさんふらわあ だいせつ火災事故については、運輸安全委員会において調査が進められ、本日、「旅客フェリーさんふらわあ だいせつ火災事故に係る船舶事故調査について（経過報告）」が公表されたところです。

同報告中6.1(3)にあるとおり、本件冷凍機の内部において、モータの配線（3線）に、1つの配線の一部に短絡している痕跡が、また、その付近には切断した後に撚って結線された箇所及び1つの配線に断線している箇所が認められています。

当該火災事故については、出火元の特定及び出火原因の究明には未だ至っておらず同委員会による調査が続けられるところであり、また、このモータの配線の結線方法等と出火との因果関係も不明ではありますが、冷凍機を取り扱う専門業者においてはこのような撚った配線は一般的にはなされていないことから、冷蔵冷凍車の冷凍機からの出火防止に万全を期すため、下記のとおり、冷蔵冷凍車の冷凍機の電気系統の安全確保に努めて頂きますよう、傘下会員への周知方お願いいたします。

記

1. 保有する冷蔵冷凍車の冷凍機について、適切な結線方法により配線されていることを点検すること。点検の結果、適切な結線方法により配線されていないことが確認された場合は、専門業者に依頼する等して適切に配線すること。
2. 冷凍機メーカーが推奨する点検（日常、定期、一定距離毎など）を、必要に応じ専門業者に依頼する等して適切に実施すること。
3. 冷凍機に関する電気配線の補修等を行う際には、専門業者に依頼する等して、適切な施工を確保すること。

国自安第 1 2 3 号の 2
国自整第 1 7 9 号の 2
平成 2 8 年 9 月 2 9 日

一般社団法人日本自動車整備振興会連合会会長 殿

国土交通省自動車局
安全政策課長

整備課長

冷蔵冷凍車の冷凍機の電気配線の安全確保について

平成 2 7 年 7 月 3 1 日、北海道苫小牧市苫小牧港沖 4 5 海里付近で発生した旅客フェリーさんふらわあ だいせつ火災事故については、運輸安全委員会において調査が進められ、本日、「旅客フェリーさんふらわあ だいせつ火災事故に係る船舶事故調査について（経過報告）」が公表されたところです。

同報告中 6. 1 (3) にあるとおり、本件冷凍機の内部において、モータの配線（3 線）に、1 つの配線の一部に短絡している痕跡が、また、その付近には切断した後に撚って結線された箇所及び 1 つの配線に断線している箇所が認められています。

当該火災事故については、出火元の特定及び出火原因の究明には未だ至っておらず同委員会による調査が続けられるところであり、また、このモータの配線の結線方法等と出火との因果関係も不明ではありますが、冷凍機を取り扱う専門業者においてはこのような撚った配線は一般的にはなされていないことから、冷蔵冷凍車の冷凍機からの出火防止に万全を期すため、下記のとおり、冷蔵冷凍車の冷凍機の電気系統の安全確保に努めて頂きますよう、傘下会員への周知方お願いいたします。

記

1. 冷凍機を点検した際に、適切な結線方法により配線されていないことが確認された場合は、専門業者に依頼する等して適切に配線すること。
2. 冷凍機に関する電気配線の補修等を行う際には、専門業者に依頼する等して、適切な施工を確保すること。

船舶事故調査の経過報告について

平成28年9月29日

運輸安全委員会

平成27年7月31日、北海道苫小牧市苫小牧港南方沖45海里付近で発生した旅客フェリーさんふらわあ だいせつ火災事故について、当委員会においては、事故発生以来、鋭意調査を進めてきたところである。

これまでに事実調査についてはほぼ終了しているが、更に調査及び分析を進めるとともに、原因関係者からの意見聴取を実施することとなるため、最終的に報告書を取りまとめるまでには、なお時間を要すると見込まれる。

しかしながら、同種の事故の発生を防止する観点から、本事故の概要、本事故調査の経過及び現時点で確認された事実情報を報告し、公表することとした。

なお、本経過報告の内容については、今後、更に新しい情報や状況が判明した場合、変更することがあり得る。

旅客フェリーさんふらわあ だいせつ火災事故に係る 船舶事故調査について（経過報告）

1 船舶事故の概要

旅客フェリーさんふらわあ だいせつ（以下「本船」という。）は、船長ほか22人が乗り組み、旅客71人を乗せ、車両等160台を積載して茨城県大洗町大洗港を出港し、北海道苫小牧市苫小牧港に向けて北進中、苫小牧港南方沖45海里付近において、平成27年7月31日17時10分ごろ第2甲板で火災が発生した。

本船は、乗組員が消火作業を行ったものの延焼し、船長が18時35分ごろ総員退船を命じ、来援した旅客フェリー等により、旅客全員及び二等航海士を除く乗組員が救助された。

二等航海士は、行方不明となり、8月3日11時01分ごろ第2甲板で発見され、死亡が確認された。

本船は、その後、函館港にえい航され、炭酸ガス（二酸化炭素）注入による消火作業が行われて8月10日14時53分ごろ鎮火が確認された。

本船は、第2～4甲板の右舷中央部の甲板、外板等に焼損及び曲損を、第2及び第3甲板に積載されていた車両等に焼損をそれぞれ生じた。



本船の側面図（救命設備等の位置）

2 船舶の主要目

船舶番号	136432
船籍港	茨城県大洗町
船舶所有者	津軽海峡フェリー株式会社
船舶借入人	商船三井フェリー株式会社（以下「A社」という。）
総トン数	11,401トン

